

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~3日	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	10	27	31	21	25	14	9 (10)	9
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	2	13	7	11	6	11	5 (6)	6
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	0	1	2	2	1	2	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	2	1	5	2	4	6	4	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	0	4	4	2	0	4	2	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	1

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第7週(2月15日~2月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8	1		2	1			4
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1			1				
五類	3	クロイツフェルト・ヤコブ病	1							1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1			
		梅毒	1							1
新型インフルエンザ等感染症	43	新型コロナウイルス感染症	43	9	2	0	0	16	0	16

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 新型コロナウイルス感染症

第7週に合計16件の報告がありました。
 感染の再拡大を防止するため、引き続き、健康管理に注意し、マスク着用や手洗い、「3密」の回避などの基本的な感染対策を徹底し、緊急事態宣言地域への不要不急の往来は控えましょう。

2. 麻疹(はしか)・風しんの予防接種について

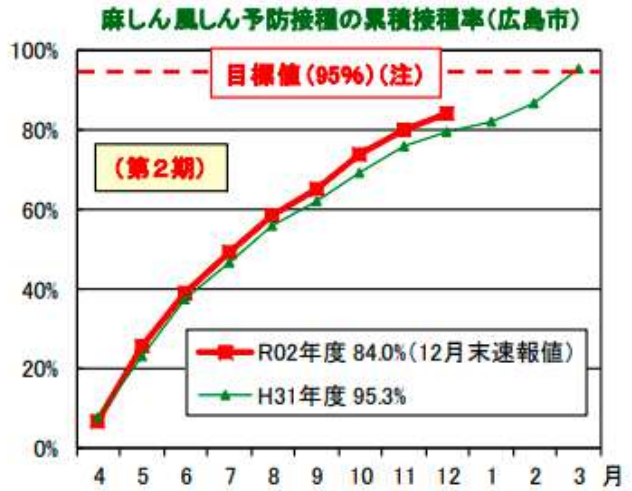
麻疹、風しんの感染予防には、ワクチン接種が最も有効です。定期接種対象者(第1期:1歳児、第2期:小学校入学前1年間の幼児)の方は、早めに接種しましょう。

令和2年度の麻疹・風しん予防接種第2期(※)の無料接種は令和3年3月31日までです!

※第2期対象者:平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれの方

【参考】健康推進課「麻疹(はしか) 風しんの予防接種を受けましょう!」

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2936.html>



(注)厚生労働省の「麻疹に関する特定感染症予防指針」及び「風しんに関する特定感染症予防指針」において、接種率が95%以上となることを目標としています。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	1	0.03	25.67		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.17	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.31			RSウイルス感染症	-	-	0.33	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	2.24	▲	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	71	2.96	6.16	◻		流行性角結膜炎	2	0.25	0.40	
	水痘	2	0.08	0.26		基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	手足口病	2	0.08	0.14			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.44			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17	
	突発性発しん	8	0.33	0.27			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.01			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.31	

急増減	増減	微増減	横ばい	前週と比較しておおむね
▲	▲	◻	◻	1:2以上の増減
▲	▲	◻	◻	前週と比較しておおむね
▲	▲	◻	◻	1:1.5~2の増減
▲	▲	◻	◻	前週と比較しておおむね
▲	▲	◻	◻	1:1.1~1.5の増減
▲	▲	◻	◻	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	70歳代

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体	
その他の呼吸器疾患	発熱(37.9℃)	気管支炎	1	2020/10/11	鼻汁	ライノウイルス

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載